

大地が持つエネルギー、地中熱を冷暖房や温熱利用に活用する地中熱利用システム。
地球に優しい新たな沖縄のライフスタイルの価値とビジネスの可能性を探ります。



地中熱利用システム 開発・普及促進シンポジウム

～大地のエネルギーを活用した快適で健康なワーク&ライフを目指して～

平成31年1月25日 金

主催：沖縄県

13:30～17:00（開場 13:00）
沖縄県立博物館・美術館 講堂

募集定員
200名



基調講演① いでもと 井出本 みのる 穰氏

（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 主査）

地中熱利用の技術開発の動向

基調講演② かきさき 柿崎 たかお 隆夫氏

（日本大学工学部工学研究所 次長・教授）

ロハスな暮らしと浅層地中熱利用システム

話題提供 よしだ 吉田 あきら 哲

（沖縄県環境部環境再生課 環境対策班長）

沖縄県における地中熱利用システムの 開発と普及

パネルディスカッション

地球に優しい新たな沖縄の ライフスタイルの価値とビジネスの可能性を探る

パネリスト

- 小熊 正人氏（おぐま まさひと）【日本大学工学部機械工学科 特任教授】
- 持留 雄一郎氏（もちどめ ゆういちろう）【鹿児島県地中熱利用促進協議会 会長】
- 金城 真紀氏（きんじょう まき）【日本大学工学部機械工学科 研究員】
- 知花 功氏（ちばな いさむ）【OMCS合同会社 代表業務執行社員】
- 吉田 哲（よしだ あきら）【沖縄県環境部環境再生課 環境対策班長】

コーディネーター

- 柿崎 隆夫氏（かきさき たかお）【日本大学工学部工学研究所 次長・教授】

地中は一年を通じて安定した温度が保たれています。例えば、鍾乳洞の中では、夏は涼しく、冬は暖かく感じます。これは、中の温度がほぼ一定に保たれていることから体感できる現象です。これを冷暖房などに活用するのが「地中熱利用」です。敷地の地中に、複数の熱交換井（ねつこうかんせい）を埋設し、そこから地中熱を取り出し、室外機（ヒートポンプ）によって冷暖房に適した温度に調整します。



【地中熱利用システムの活用イメージ】

問合せ先

中央開発・ワールド設計共同企業体
（沖縄県業務「平成30年度地中熱を活用した省エネ技術の開発・普及事業委託業務」委託先）
電話：098-943-6071
担当：千村・大堀



地中熱利用システム 開発・普及促進シンポジウム

日付：平成31年1月25日(金)

時間：13:30～17:00(開場 13:00)

会場：沖縄県立博物館・美術館 講堂

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

TEL 098-941-8200 FAX 098-941-2392

ご来館はなるべく公共交通機関をご利用
ください。



沖縄都市モノレール「ゆいレール」おもろまち駅下車 徒歩10分

<p>申込方法</p>	<p>①氏名(申込の代表者) ②参加希望人数 ③電話番号 ④企業・団体名(企業・団体でお申込みの方のみ) 以上を明記しFAX、E-mailのいずれかでお申込みください。 ※申込者多数の場合は、先着順とさせていただきます。 ※定員を超過した場合のみ、事務局から連絡させていただきます。</p>
<p>申込締切</p>	<p>平成31年1月18日(金) 必着</p>

地中熱利用システム 開発・普及促進シンポジウム FAX申込シート

<p>氏名</p>	<p>(ふりがな)</p>	<p>参加希望 人数</p>	<p>計 名</p>
<p>電話番号</p>			
<p>企業・団体名 ※企業・団体でお申込み の方のみ記入ください</p>			

【申込・お問合せ先】

中央開発・ワールド設計共同企業体 「地中熱利用システム 開発・普及促進シンポジウム」係
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-2 琉薬商事ビル
TEL : 098-943-6071 (平日10:00～17:00)
FAX : 098-943-6072
E-mail : ckc-symposium@ckcnet.co.jp

※電話でのお申込みは受付しておりませんのでご了承ください。

※お申込みいただいた皆様の個人情報は、個人情報保護法にのっとり管理いたします。

※お預かりした個人情報は、本イベントに関連した目的のみに使用し、それ以外の目的では使用いたしません。